

2016 年度春季大会の告示

I. 大会の案内

1. 期 日

2016 年 5 月 18 日（水）～21 日（土）

午前：口頭，ポスター
午後：シンポジウム
2. 会 場

国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
<http://nyc.niye.go.jp/>

第 4 日（5 月 21 日）
午前：口頭，ポスター，ジュニアセッション
午後：口頭，専門分科会
3. 研究発表

口頭及びポスター形式で行われます。研究発表の詳細につきましては下記「IV. 研究発表要領」をご参照下さい。
4. 大会日程

大会は以下の日程で行われる予定です。

第 1 日（5 月 18 日）
午前：口頭，ポスター
午後：口頭

第 2 日（5 月 19 日）
午前：口頭，ポスター
午後：総会，受賞記念講演，懇親会

第 3 日（5 月 20 日）
5. シンポジウム

大会第 3 日（5 月 20 日）の午後に開催予定です。テーマは「竜巻の観測・予測の現状と将来」です。
6. 懇親会

大会第 2 日（5 月 19 日）の夕刻に、大会会場にて開催予定です。
7. 大会ウェブサイト【2016 年 1 月 5 日（火）開設予定】

本大会では、大会ウェブサイトを用いて、2016 年 1 月 5 日（火）より開設する予定です。講演申込み受付や大会プログラムなどの詳細につきましては、こちらをご参照下さい。URL 等につきましては、気象学会ホームページ（<http://www.metsoc.jp/>）をご参照下さい。

II. 大会参加手続き

1. 講演を行う場合の参加申込方法

「天気」本号掲載の「日本気象学会 大会発表規程」に従って講演の申し込みを行って下さい。

原則として大会ウェブサイト上からオンラインで行って下さい。 オンラインで大会予稿原稿を送付できない場合や、クレジットカードによるオンライン決済ができない場合など、止むを得ない事情がある場合は、郵送による申込を受け付けます。

なお、大会参加登録・参加費支払済みであることを講演申込資格とさせていただきますのでご注意ください。
- 1.1 オンラインによる申込

・締切：2016 年 2 月 2 日（火）15 時（日本時間）

 - ・大会ウェブサイトを参照し、指示に従って申し込みをして下さい。
 - ・大会ウェブサイト上で最初に個人情報と ID・パスワードの登録を行います（前回の ID・パスワードはそのまま利用することはできません。お手数ですが、改めて個人情報と ID・パスワードの登録を行って下さい）。この ID とパスワードによって登録システムにログインし、大会参加登録・講演申込・大会予稿送付・大会参加費決済などを行います。
 - ・個人情報と ID・パスワードの登録は講演者本人が行ってください。申込締切後、プログラム編成を

支障なく進めるために、登録された個人情報は講演者本人のものであることが必要です。また、一つの ID で、講演者の異なる 2 件の講演申込を行うことは控えてください。ご協力をお願いします。

- ・講演申込の前に、予め大会参加登録と大会参加費の払込(クレジットカード決済)を行って下さい。大会参加登録と大会参加費の決済が行われていない場合、講演申込は受け付けられません。
- ・オンライン決済の際には、個人情報登録者本人以外の名義のクレジットカードも使用可能です。
- ・大会予稿原稿もウェブサイトよりご送付下さい。ファイル形式は PDF (容量の上限は 1 MB) に限ります。
- ・大会予稿原稿を投稿する際には、ウェブサイト上で著作権委譲に同意する必要があります。
- ・講演に関する要望がある場合は所定の欄に記入して下さい。要望事項は、プログラム編成時に可能な限り考慮するように努めますが、諸事情により要望に沿えない場合があるのでご了承下さい。なお、口頭発表の発表日時の希望は原則として受け付けません。また個別の要望についての回答は致しませんので、併せてご承知おき下さい。
- ・講演申込み締め切り(2月2日(火)15時)までは、ウェブサイト上において、一旦申し込んだ講演申込の登録内容の修正や大会予稿原稿の差し替えなどを行うことができます。ただし講演のキャンセルはできません。
- ・締め切り後の講演申込や大会予稿原稿の差し替え等は受け付けません。

1.2 郵送による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2016年1月26日(火)(消印有効)
(オンライン申込に比べて締切日が1週間早くなっています。ご注意ください。)
- ・以下の4点を講演企画委員会事務局(下記)まで電子メールまたは郵送にてお送り下さい。
 - ① 大会予稿原稿(電子メールの場合は PDF 形式)
 - ② 講演者氏名(漢字とローマ字)、所属、所属略称、会員番号、発表形式、連絡先(住所・電話番号・E-mail アドレス)、講演題目、主・副キーワード、参加種別(講演者 A/講演者

B)、懇親会(参加/不参加)、その他必要事項を書いたもの(様式は自由)

③ 郵便振替払込受領証またはそのコピー(次項参照)

④ 全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書(フォーマットは以下に掲載)

http://www.metsoc.jp/E/msj_copyright.pdf

送付先(電子メールの場合):

kouenkikaku2016s@mri-jma.go.jp

(件名に「講演申込 2016s」と明記して下さい。)

送付先(郵送の場合):

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所予報研究部内

気象学会講演企画委員会事務局

(封筒の表に「講演申込」と朱書して下さい。)

・講演申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって大会参加費を納入して下さい。

一口座番号は「00130-3-5958」、

加入者名は「日本気象学会」です。

—「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。

①「2016年度春季大会参加申込」と明記

②会員番号(非会員の場合は「非会員」と明記)

③大会参加種別(講演者 A または講演者 B)

④大会参加費金額

⑤懇親会費金額

⑥合計金額

—「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。

—払込料金は本人負担でお願いします。

1.3 講演のキャンセルについて

・講演申込み後は、講演のキャンセルは原則として受け付けられません。止むを得ず大会参加や発表を取り止める場合でも、すでに支払われた参加費・懇親会費は返却しませんのでご注意ください。

・講演者の都合が悪くなった場合の代理発表につきましては、柔軟に対応いたしますので講演企画委員会(kouenkikaku2016s@mri-jma.go.jp)までご相談下さい。

2. 講演をしない(聴講のみ)場合の参加手続き

以下のいずれかの方法で参加費等を納入して下さい。事務負担軽減のため、なるべくオンライン(大会ウェブサイト)による事前登録をご利用下さい。

2.1 オンラインによる申込

2016年4月5日（火）までに大会ウェブサイトに参加登録し、参加費を払い込んで下さい（クレジットカード決済のみ）。期日までに参加費の払い込みが済まされない場合は、参加登録は無効となります。

2.2 郵送による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・2016年3月29日（火）までに、郵便振替で参加費を払い込んで下さい。
 - －口座番号は「00130-3-5958」,
 - 加入者名は「日本気象学会」です。
 - －「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
 - ①「2016年度春季大会参加申込」と明記
 - ②大会参加種別（聴講者）
 - ③大会参加費金額
 - ④懇親会費金額
 - ⑤合計金額
 - －「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。
 - －払込料金は本人負担でお願いします。

2.3 大会当日に会場で申込

当日会場で参加登録をして、参加費を現金で支払って下さい（当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください）。

3. 参加費、懇親会費

3.1 大会参加費

- ・大会参加費（食事代等は含まれません、消費税込）は以下の表の通りです。

| 大会参加費 | | |
|-------|---------|---------|
| 種別 | 前納 | 当日 |
| 講演者 A | 8,000 円 | － |
| 講演者 B | 5,000 円 | － |
| 聴講者 | 3,000 円 | 4,000 円 |

- ・講演者の種別：

講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者 B：講演者 A に該当しない講演者

- ・講演件数が2件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。

3.2 懇親会費

- ・懇親会費（消費税込）は以下の表の通りです。世代を問わず多くの方々に参加していただき交流を深めたいと思います。

| 懇親会費 | | |
|------|---------|---------|
| 種別 | 前納 | 当日 |
| 一般 | 4,000 円 | 5,000 円 |
| 学生 | 3,000 円 | 4,000 円 |

- ・懇親会費はオンラインもしくは郵便振替で参加費と同時に前納することが出来ます。期日までに懇親会費の払い込みが済まされない場合は、前納による参加登録は無効となります。当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください。

3.3 その他

- ・一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- ・大会参加費・懇親会費の種別は、支払い時点での所属によって判断して下さい。一旦支払われたあとの所属変更などによる種別の変更はいたしません（追加の支払い請求や差額の払い戻しなどは行いません）。
- ・領収書は大会当日受付で発行させて頂く予定です。
- ・参加当日は、参加登録・決裁完了メールのプリントアウト等を持参いただくと、よりスムーズに受付を行うことが可能です。

Ⅲ. 大会予稿原稿作成要領

1. 原稿サイズ・枚数

1件あたり A4 判 1 枚とします。

2. 作成方法

大会ウェブサイトから申込みをする場合のファイル形式はPDF（容量の上限は1MB）とします。郵送する場合はA4用紙に直接出力するか、別紙に作成した文書・図表を用紙に糊付けして下さい。

3. 印刷

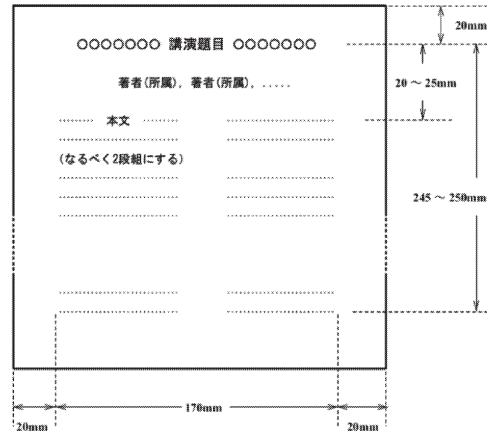
原稿はB5サイズに縮小されて白黒でダイレクト製版されます。階調のある写真や図は、明瞭度が落ちる場合がありますので作成時にはご注意ください。特に、カラーの写真や図は明瞭度が極端に落ちる場合がありますので、予めご承知お下さい。

4. 配置（付図参照）

記載範囲は縦250mm×横170mm以内とし、上部には20mmの余白をとって下さい。最上段に講演題目、その下に著者と所属を書き、本文をその下につけて下さい。著者が複数の場合には講演者の左肩に＊をつけて下さい。講演題目から本文までの間隔は20～25mmとして下さい。本文は原則として2段組（左半分→右半分）にして下さい。

5. 著作権

予稿集に掲載された文章および図表の著作権は（公社）日本気象学会に帰属します。



図：A4判用紙による大会予稿原稿の作成要領

IV. 研究発表要領

1. 発表の種類

講演方法には、口頭発表（専門分科会を含む）とポスター発表の2種類があります。

2. 発表件数の制限

1講演者あたりの発表件数は2件以内とします。ただし内容がほぼ同一と見なされるテーマでの2件の発表は認められません。この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に対応します。

3. 講演方法の選択について

講演方法（口頭／ポスター）につきましては講演申込時に選択できますが、申込件数や会場の都合等により希望通りにならない場合があることを予めご了承下さい。なお、講演申込時に講演方法の希望がない場合は、講演企画委員会の裁量で振り分けを行

います。

4. 口頭発表の概要

口頭発表の講演時間は全て同一とします。1件あたりの講演時間は、口頭発表に配分された時間の総計を申込件数で割ったものを目安として講演企画委員会が決定し、大会プログラムに掲載します。

5. 専門分科会の概要

- ・専門分科会は大会第4日（5月21日（土））に開催予定です。
- ・専門分科会の各講演の講演時間はコンビーナーが決定し、大会プログラムに掲載します。
- ・専門分科会への講演申込み締切日は一般講演と同じ（オンライン申込は2月2日（火）、郵送申込は1月26日（火））です。
- ・専門分科会に申し込まれた発表については、コン

ビーナーが大会予稿原稿を審査して、専門分科会での発表を認めるかどうかを判断します。

- ・専門分科会に申し込まれた発表が、コンビナーによって専門分科会に適さないと判断された場合には、一般発表に振り替えます。
- ・各専門分科会の詳細につきましては、「V. 専門分科会のテーマと趣旨」をご参照下さい。

6. ポスター発表の概要

- ・ポスター発表の時間は1時間程度とします。ポスター発表の時間には他の行事は行われません。
- ・ポスターの掲示・撤去は、講演者の責任で行って頂きます。
- ・掲示スペースは、縦150 cm×横180 cmとします。なお、ポスターは大きな紙1枚に書く必要はなく、小さい紙に分けて書いたものを当日並べて掲示しても構いません。

7. 講演における機器の使用について

- ・口頭発表（専門分科会を含む）につきましては、PCプロジェクターが使用できます。それ以外の機器は使用できません。
- ・PCプロジェクターを使用する場合は、以下の点に留意して下さい。
 - ーパソコンは各自でご準備下さい。会場にはプロジェクター及び接続ケーブルのみを準備します。
 - ーセッション開始前の休憩時間などを利用して、

必ず接続の確認を行っておいて下さい。接続に不安がある場合は、その際に会場係に申し出て下さい。

- ー突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をすることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。
- ・ポスター会場での機器の使用を希望する場合は、機器の名称およびその使用方法を、講演申込み時に届け出てください。口頭発表への申し込みをする場合も、プログラム編成上の都合によりポスター発表に振替られた時に、機器を使用する可能性があれば同様に届け出てください。ただし会場の都合により、その要望が受け入れられる保証はありません。

8. その他

- ・大会プログラムは「天気」4月号及び大会ウェブサイトに掲載されます。
- ・口頭発表セッションにおける座長は、テーマごとに発表者の中から選ばれることが多くなっています。講演企画委員会が、座長候補者を選び、候補者へはその承諾に関する打診を行いますので、その際にはご協力願います。

V. 専門分科会のテーマと趣旨

2016年度春季大会では下記の通り、1件の専門分科会が開かれます。

1. 「雷放電の理解とその応用」

趣旨：雷放電の理解を目的として積乱雲内の電荷分離機構や雷放電過程などに着目した最新の研究の集約を行う。さらに応用分野として雷放電データの利活用など幅広く雷放電・雷活動も取り上げ、議論を行う。具体的には以下のテーマを主に取り上げる。

(1) 積乱雲内の電荷分離機構に関する研究：気

象レーダーと雷観測データを用いた事例解析、積乱雲シミュレーションを用いた雷放電の研究。

(2) 雷放電の進展過程に関する研究：ステップトリーダー、リターンストロークなど雷放電諸過程に関する研究。

(3) 雷放電データの利活用：雷放電データの航空分野への応用、雷活動の予測手法など。

コンビナー：吉田智（気象研究所）、林修吾（気象研究所）、角村悟（気象研究所）、森本健志（近畿大学）、牛尾知雄（大阪大学）

VI. 非会員の大会講演について

気象学会会員でない方は原則として大会講演を行うことは出来ません。しかしながら、短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において講演を行う場合を考慮して、講演企画委員会では以下の条件を満たすものに限り非会員が大会講演を行うことを認めています。

1. 共著者の中に会員が含まれていれば、非会員

の講演を認める（大会予稿に会員である共著者の氏名と所属を明記すること）。

2. ただし、専門分科会に関しては各コンビーナーの判断にゆだねる。

なお、講演企画委員会としては、継続的に大会発表を行いたい人には会員になって頂くよう強く要請します。

VII. 研究会活動への支援について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な支援をします。支援を希望する方は、次の事項を明記の上、講演企画委員会（E-mail: kouenkikaku2016s@mri-jma.go.jp）へ申し込んで下さい。なお、会場によっては利用料負担をお願いする

場合があります。

申込期限：2016年2月2日（火）

- 記入事項：
1. 会の名称とテーマ
 2. 代表者の連絡先
 3. 希望日時・開催場所
 4. 予想参加人数
 5. 希望する支援内容

VIII. 大会期間中の保育支援について

大会実行委員会では、大会中の保育施設利用料の一部補助を行います。保育支援を希望される方は、2016年4月14日（木）までに下記担当者までご連絡下さい。それ以降の問い合わせにも極力対応させて

頂きます。

連絡先：北澤克樹（気象庁）

E-mail: k.kitazawa@met.kishou.go.jp

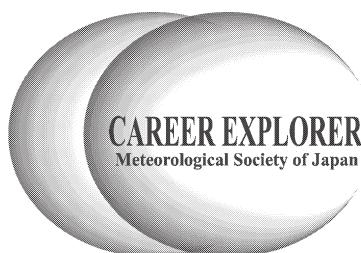
IX. キャリアエクスプローラーロゴについて

1. キャリアエクスプローラーロゴの趣旨

近年、社会問題化している若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、日本気象学会では、キャリアエクスプローラーロゴの利用を勧めています。これは、広く学術に貢献する人材の育成および活動支援の一貫として行うもので、会員が望ましいキャリア形成のために求職中の場合に、適職に出会うのをサポートします。

2. キャリアエクスプローラーロゴ

大会予稿や講演資料の中でこれを表示することで自分が求職中であることを表明できます。カラーと白黒のロゴの電子データを学会ホームページから取得できます。



3. 使用方法

ポストドクを含む任期付研究者や学生で求職中の会員、またはそれに準ずる会員が講演する場合に、大会予稿および講演資料の中で、キャリアエクスプローラーロゴを使用できます。

1. 大会予稿：白黒ロゴを、講演題目の左側に、余白にはみ出さないよう適度な大きさに挿入してください。

2. 口頭発表：発表資料の任意の場所に分かりやすく表示してください。
3. ポスター発表：講演題目付近の分かりやすい場所に表示してください。

4. 使用に関する注意

1. 日本気象学会およびその会員の主催する講演会においてのみ使用できます。
2. 講演会は学術的な講演・議論を目的に行われます。口頭発表の時間内は、求職・求人に関する議論はご遠慮ください。
3. ロゴは講演者本人の責任の下で使用してください。その使用により生じた如何なる利益・不利益に対しても、日本気象学会は一切責任を負いません。
4. ロゴ導入の趣旨および適切な使用方法を逸脱した使用は一切認められません。

X. リクルートブースの設置について

日本気象学会は、大会会場にてリクルートブースを設置する予定です。これは、適職に出会うための機会を民間企業から広くご提供いただくことにより、気象学会に所属する大学院生や有期雇用の若手研究者のキャリア形成をサポートする試みです。企業の

就職担当者の方々にご来場いただき、就職を希望する参加者と直接情報交換する場を提供します。ブース訪問希望者の参加予約等の手続は不要です。なお、参加企業名は大会プログラムとともに発表の予定です。